

ニチレイグループ 環境方針・長期目標

ニチレイグループは、グループ共通の環境方針のもと、2010年度を達成目標年度とした長期目標を策定しています。各事業会社では、この長期目標に基づき、事業内容とその環境負荷の特性に応じた個別の目標を設定し、環境負荷削減に取り組んでいます。▶各事業会社の目標はP30～31をご覧ください

環境方針	(1992年策定)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境負荷低減に努めます。 2. 環境マネジメントシステムの構築により、環境保全対応の強化を図ります。 3. 環境法規、条例等の法的要求事項を遵守します。 	

長期目標(達成目標年度 2010年度)

① 廃棄物削減と再資源化

廃棄物の発生抑制、再使用、リサイクルを推進し、最終処分廃棄物量※ゼロをめざします。
 ※ 事業所外に排出される廃棄物のうち、直接処分場に埋め立てられる廃棄物およびエネルギー利用などがなく単純焼却される廃棄物の量

② 地球温暖化防止

食品工場や物流センターなどでのエネルギー使用量や物流時の燃料使用量の低減など、事業活動に伴い排出されるCO₂の削減に努めます。
 ● 食品工場についてはグループ数値目標を設定
 対象：ニチレイフーズおよびニチレイフレッシュ国内食品工場
 目標：生産トン当たりのCO₂排出量(電力・燃料由来)を1999年度比15%削減

③ 環境に配慮した商品・サービスの提供

各社の事業の特性を踏まえ、環境負荷低減に貢献できる商品・サービスを提供します。

④ 環境への影響の大きい化学物質への適切な対応

適正管理および必要に応じた迅速な処理などにより、環境への影響を最小限に抑えます。

⑤ 本社・支社オフィスにおける環境保全への取り組み

事務所における省エネ活動やごみの分別、グリーン購入などに取り組めます。

⑥ 環境マネジメントシステムの構築

各社の事業特性に沿った環境負荷の低減を推進していくための仕組みを構築、改善していきます。

⑦ 環境法規遵守

遵守状況を常に確認するとともに、制定や改正などにも迅速に対応します。

環境マネジメント

環境マネジメント体制

多岐にわたる分野の事業会社で構成されるニチレイグループは、各社の事業活動により環境負荷の特性が異なることから、事業会社ごとに「環境保全委員会」を設置し、各々の特性に応じた環境対策の立案、実効性の高い環境活動を推進しています。各社の取り組みは、年に3回開催される「グループ環境保全委員会」において報告され、取り組みの内容・進捗に応じてグループ全体の環境保全に関する政策・方針を策定しています。

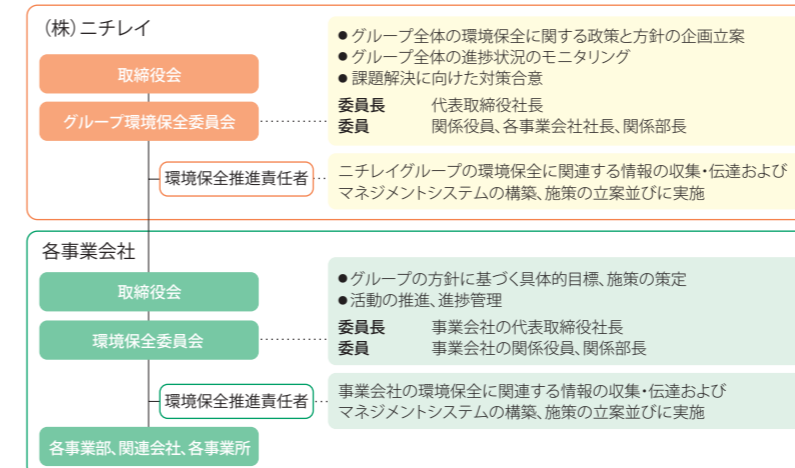
▶各事業会社の目標はP30～31をご覧ください

ISO14001などの認証取得状況

ニチレイグループは、食品工場におけるISO14001認証取得を優先しています。2008年3月に(株)中冷が認証取得し、ニチレイフーズの直営・子会社全11工場での認証取得を完了しました。今後は、2008年4月から新たに子会社となった(株)キューレイの認証取得をめざします。

また、ニチレイロジグループでは(株)キョクレイ本社・大黒物流センターが、2008年4月に倉庫業におけるグリーン経営認証を取得しました。今後、上記以外の物流センターにおいても認証取得をめざします。

環境マネジメント体制



環境監査

ニチレイグループでは、(株)ニチレイの経営監査部が行う監査において、組織運営、業務処理などの事項とともに、環境法規の遵守や環境保全上の重要事項に対する監査を実施しています。

また、ISO14001認証取得事業所では、上記に加え、内部環境監査および社外審査登録機関による年1回の外部審査を実施しています。

環境事故、法規違反の状況

2007年度は、環境に重大な影響を与える環境事故、法規違反はありませんでした。

環境会計

ニチレイグループは、環境保全活動に要したコストおよび環境保全上の効果を定量的に把握するために、2000年度から環境会計を導入しています。食品工場、物流センターにおける環境保全コストおよびISO14001認証取得事業所における環境保全対策に伴う経済効果の把握を行っています。

▶環境会計の詳細はホームページをご覧ください

環境監査体制

